

令和元年度 山口県看護協会保健師職能集会報告

令和元年6月22日（土）に保健師職能集会を開催しました。42名参加のもと、山口県保健師職能委員長より平成29年度事業報告・平成30年度事業計画等報告の後、講演『公衆衛生と保健師活動』というテーマで、山口県立総合医療センターへき地医療支援部（元山口県周南環境保健所長） 中嶋 裕 部長 にご講演をいただきました。



講演では、保健所長として実践されたことや保健師に期待すること等について、分かりやすく話していただきました。とくに、保健師に対して『話の聴き方が上手』、『地域（健康に関する様々なデータやキーパーソン）を知っている頼もしい存在』、『今後はキャリアアップを図り、保健師が部局の顔になることを期待する』とのお言葉をいただきました。地域住民の健康を支える役割を担う私たち保健師にとって、改めて住民の声に耳を傾け寄り添う姿勢や、地域診断に基づく保健活動の重要性を再認識する良い機会となりました。

また、講演終了後には、「保健師カフェ」を行いました。年代別に6グループに分かれ、お茶を飲みながら、それぞれの職場の取り組みの情報交換や交流を行い、地域、所属を超えた保健師同士のつながりを広げる有意義な時間となりました。



～参加者の感想～（アンケートより抜粋）

- ・中嶋先生の話がとても分かりやすかったので、また違う話もお聴きたい。
- ・職種は違っても、最終的な目的は同じであるため、連携をとり、協働していくことが大切だと思った。
- ・保健師っていいなあ。また来週からもがんばろう！と思える大切な時間となった。
- ・同世代の人たちと気楽な雰囲気の情報交換をすることができてとても有意義な時間だった。話せばなしの緊張感のない雰囲気は私にとっては、とてもリラックスして参加できた。
- ・他市の情報がきけたので良かった。
- ・職場・職種を超えて連携する機会は、看護協会だからこそできる取り組みだと分かった。